

令和6年度 第1回 みやき町入札等監視委員会議事概要

開催日 ／場所	令和7年1月30日（木） 13：30～15：00 みやき町役場 みやき町庁舎2階会議室	
出席委員名	石橋 信好 委員 松本 博 委員	
欠席委員名	奥田 律雄 委員	
議事対象期間	令和6年4月1日～令和6年9月30日	
抽出案件	指名競争入札：3件	
	2 入札及び契約手続きの運用状況の報告	
	(1) 期間内の入札・契約実績	
	○資料1により事務局から説明	
	意見及び質問	回答
	・一般競争入札と指名競争入札の前年度の実績と発注方法に関する基準を教えてほしい。 ・プロポーザル方式はなかったのか。 ・物品購入の入札に係る平均落札率が70.3%と低いと思うが、その理由は。	・令和5年度の一般競争入札の実績はない。指名競争入札は137件。 ・発注方法の違いについては、みやき町建設工事発注に関する規則において、設計金額が24億3000万円以上については一般競争入札としている。設計価格5億円以上は公募型指名競争入札、設計価格5億円未満は指名競争入札で実施している。 ・令和5年度は10件、令和6年度上期はない。 ・予算要求時の見積りをを参考に予定価格を設定している。入札時は競争原理が働き、落札率が大きくなったと考える。

	3 入札参加資格・指名理由等の審議	
	○資料2により関係部署から説明	
	(1) 令和6年度ティアラみねトマト館大規模改修工事(指名競争)	
	意見及び質問	回答
	・予定価格の事前公表は行っているか。 ・行っていないのはどういった理由か。全国的には公表されていないところが多いようであるが、現在は少しずつ事前公表を行っている公共団体もあるとも聞いている。 ・5者が入札し、一番低い金額というだけで指名されたのか。技術点や評価点などを考慮するといった検討はしないのか。 ・技術評価点などの点数制度は考慮されないのか。 ・落札金額が低いのはわかるが、県の点数表をもとに落札金額を加味して決めるということか。 ・今後、ランクの表を付けていただきたい。 ・大規模改修800万円の財源は。 ・PFIは今後も継続して行っていくのか。全国的に見ると、コストの関係で縮小傾向との情報もある ・自治体が賃貸事業を直接やるのではなく、自治体が所有している土地を不動産会社に任せて運営をしてもらうやり方もある。	・行っていない。 ・令和3年度までは事前公表を行っていたが、積算の能力向上の観点から事後公表とすることとした。国の指針に準じている。 ・県の等級基準を準用して指名している。県において工事の実績などから評点がつけられ、その点数に応じて等級が決まっている。 ・県で評価された等級をもって指名している。 ・県の評価点数に基づき指名し、落札金額で決定している。 ・今後資料の提出について改善する。 ・家賃収入等を毎年の運営管理費に充て、残りは基金に積み立てている。その基金から対応している。 ・みやき町では集合住宅4つ、戸建て住宅は31戸整備しており、令和元年度が最後である。 ・今後町の施策の中でそのような方法もあるということで考えていく。

(2) みやき町浄化センター水処理棟建設工事 (7・8系列) (指名競争)		
	意見及び質問	回答
	・入札に参加する資格があった業者は何者か。 ・入札に参加した3者は町内の業者か。神埼の方は入らないのか。 ・指名審査委員会の委員構成は。 ・町長は入らないのか。 ・昨今の状況からして、第三者的なポジションの人をいれておくと言説明がつくやり方になるのではないか。 ・今の時代に合った規程を検討していくべきではないか。 ・今回の工事の後に、管理やメンテナンスも受注業者が行うのか。 ・今回は7、8系列だが、1系列からの業者の変遷について。	・7者。 ・鳥栖市と基山町。町内には今回の入札への参加資格者はいない。また、鳥栖土木事務所管内で公募しており、神埼の方は入らない。 ・副町長、事業部長、総務部長、建設課長、下水道課長の5名。 ・入らない。みやき町建設工事等入札者指名審査委員会規程で定めている。 ・今後調査していきたい。 ・今の規程は平成19年度を最後に改正されていない。第3者委員を入れるのかは今後検討していく。 ・今回の工事は、プラントの外枠だけ、躯体の部分なので特に管理は不要。処理場プラントを設置する際は別に入札を行う。 ・当初は共同企業体で行われたが、工事の実績も増え、単体での実施となっている。

(3) 令和6年度みやき町立小中学校ICT機器整備事業(指名競争)		
	意見及び質問	回答
	・町立校7校の内訳は。 ・ICT機器はどういったものをを幾つずつぐらい7校に配置されるのか。 ・学生用じゃなく、教職員が使うものということか。 ・リース資産期間が終わったら町のものになる資産か。 ・5年も経ったら古くなって、価値がなくなることになる。 ・予定価格と入札額の差が大きいと考えるが、予定価格の積算はどこで行ったか。 ・7者中5者が辞退しているが、入札参加資格審査申請書や実績調書は提出されているのか。	・小学校が4校、中学校が3校の合計7校。 ・教職員の端末が276台。電子黒板が54台、電子黒板用の端末が82台、指導者用の端末71台。NAS(ネットワーク接続型ストレージ)が1台、マウスが484個。 ・学生が使用するタブレットは別にある。 ・そうである。 ・耐用年数は5年程度かと思うが、端末は7、8年、電子黒板は10年程度使用している。 ・学校教育課にて行った。予算要求時の見積りを基礎に、市場物価上昇等を見込んで設計した。 ・今回、7者を指名しているが、リース物品等に関する指名登録の事業者を選んでいる。